

事務事業No.	11-	5
事業名	土地改良事業	
会計	款	項
一般	6	1
目		4
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名
施策	7-1 農業の振興	産業課
		係名
		土地改良係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業生産基盤の充実	目的 (対象がどのような状態になっているか)	主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。
事業内容	農業用施設維持管理事務 施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。 農村地域防災・減災事業 防災重点農業用ため池の防災工事に向けた事業の推進を図ります。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
2	事業の性質上、指標設定は馴染みません。								
3									
4									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			18,238		126,793		92,574		
財源内訳	直接事業費 A		13,948		122,503		84,654		
	うち一般財源		12,894		12,294		13,967		
人件費 (千円) B			4,290		4,290		7,920		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.65	4,290	0.65	4,290	1.2	7,920	
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	県、土地改良区と慎重に協議を重ね、補助の目的、支出根拠、負担割合等を明確にし、必要となる協定または規定により定義する。	③取組の課題	農業用水利施設の維持管理及び更新時には多額な費用を要するため、町財政への影響が少なくなるよう適正な負担割合の平準化を図る必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神3期及び4期の改修工事を県により実施。</li> <li>・ 防災重点農業用ため池の防災工事の必要性を判断するため、ため池堤体の劣化調査、耐震調査等を行った。</li> </ul>	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県、土地改良区と慎重に協議を重ね、補助の目的、支出根拠、負担割合等を明確にし、必要となる協定または規定により定義する。</li> <li>・ 防災重点農業用ため池の防災工事に係る実施計画策定を行う。</li> </ul>